



インランドデポ（内陸コンテナターミナル）

- 本社所在地：茨城県坂東市
- 事業概要：一般貨物運送事業、コンテナラウンドユース事業、コンテナデポ運営、コンテナ販売
- 常時使用する従業員：68人（2025年3月期）
- 現在の売上高：15億円（2025年3月期）
- 法人番号：9050002018944
- Web：https://www.yoshiun.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
吉田 孝美

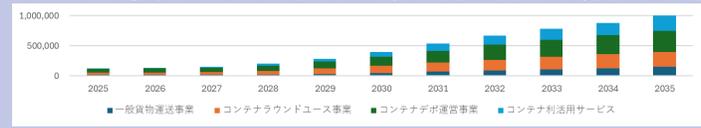
運送会社からコンテナを核とした物流ソリューション企業

私たちは運送にとどまらず、先進的なモデルを創出する物流ソリューション企業として、港から内陸までコンテナを無駄なく循環させ、荷主・船社・自治体など多様なパートナーとの共創を通じて、持続可能な物流の未来を築いていきます。さらに、コンテナの耐久性・安全性・可搬性を活かし、ビジネスやライフスタイル、災害対策など幅広い用途での新たな利活用サービスを提供し、可能性を拡げ続けます。また、旧来の慣習や非効率を徹底的に見直し、持続的な収益と働く人の時間価値を高めることで、若い世代をはじめ多様な人材が誇りを持って働ける環境を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

内陸港の機能強化で北関東の輸出入におけるコンテナ集積を推進させ、荷主・船社・自治体など多様なパートナー共創での物流ネットワークの拡大によって2035年に売上高100億円を目指す。



課題

- ・京浜港に対応した国際コンテナ物流における内陸港としての機能強化
- ・輸出関連企業ニーズが未対応で新規顧客が取り込めていない
- ・既存インランドデポのスペースがなく、新たな取組できない
- ・デジタル化が不十分で拠点連携の配送効率化に余地がある
- ・コンテナ利活用サービスのリソース不足

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・ドライポートを新規立ち上げ、既存インランドデポと連携によって多拠点コンテナ物流ネットワーク構築
- ・通関業務やパンニングなど輸出関連サービスをワンストップで提供し、輸出企業のコンテナ需要を新規獲得
- ・物流スマートシステムの開発による輸送の効率化や企業間連携の推進
- ・専門家とのサービス開発によるコンテナ利活用サービスの事業強化

実施体制

- ・新ドライポート運用人員確保のため新規人材採用（〇名：荷役機械オペレーター等、通関士等）
- ・パンニングや車両点検業務に関する地域企業とのパートナーシップ構築
- ・通関関連業務の実施体制整備と実績づくり
- ・コンテナ利活用サービス事業の独自

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです